

所 属	教育委員会 社会教育文化課		
担当(係)名	教育振興担当	内 線	3577

(款)10教育費	(項)7社会教育費	(目)(4)社会教育施設費
(明細書事業名) 美術館費 美術館企画展開催事業		

1 当初予算(要求)額(千円)

39,146

2 当初予算(決定)額(千円)

39,146

(前年度50,101)

【財源内訳】

一般財源

その他

28,683

10,463

3 事業概要

岐阜県美術館企画展の3つの開催方針

- ・県内出身の作家及び県にゆかりのある作家の企画展(郷土作家シリーズ)
- ・現代美術の流れを示す作家・作品に焦点を当てた企画展(現代美術シリーズ)
- ・岐阜県美術館の特徴を示す企画展

1 天野裕夫展 クロスアート 坂倉新平展(仮称)

<期間>平成15年4月10日~5月20日

<入館料(常設展示を含む)>(団体料金)

一般 700円(600円) 大学生 500円(400円)

高校生 500円(400円) 小中生 300円(200円)

2 世界の巨匠 水彩素描展(仮称)

<期間>平成15年8月9日~9月15日

<入館料(常設展示を含む)>(団体料金)

一般 900円(800円) 大学生 700円(600円)

高校生 700円(600円) 小中生 400円(300円)

3 日本のわざと美展 - 重要無形文化財とそれを支える人々

<期間>平成15年9月23日~10月19日

<入館料(常設展示を含む)>(団体料金)

一般 800円(700円) 大学生 600円(500円)

高校生 600円(500円) 小中生 400円(300円)

4 参加してエンジョイ 現代美術 - 岐阜県美術館所蔵品特別展 - (仮称)

<期間>平成15年10月28日~12月14日

<入館料(常設展示を含む)>(団体料金)

一般 600円(500円) 大学生 400円(300円)

高校生 400円(300円) 小中生 200円(100円)

4 施策の効果

「天野裕夫展 クロスアート 坂倉新平展」の開催は、岐阜の地が生み出す美術を改めて見つめることとなり、郷土の美術活動の活性化をもたらします。(絵画、彫刻等約90点)

「世界の巨匠 水彩素描展」の開催によって、西洋絵画はより身近なものとなり、美術視野を広げることとなります。(水彩、素描等約100点)

「日本のわざと美展」の開催は、工芸の幅広いジャンルを全国的視野で眺める絶好の機会となります。(陶磁器、染織、漆工、木工等約190点)

「参加してエンジョイ 現代美術」の開催によって、これまでの岐阜県美術館の活動

の成果を紹介するとともに、現代美術と楽しく接する機会を提供します。(絵画、彫刻等約50点)

- <総観覧者の見込数> 27,000人
- <総開催日数> 135日
- <一日目標観覧者数> 200人程度

5 要求の内容

・県単独で開催する3本の企画展のための委託料、印刷製本費等及び実行委員会形式で開催する1本の企画展のための開催負担金です。

・開催負担金は、実行委員会が支払う企画ギャランティ料の岐阜県負担分です。

1 天野裕夫展 クロスアート 坂倉新平展(ポスター等印刷費、作品梱包輸送委託料等)
岐阜県美術館の開館20周年を契機として新たに展開する新シリーズです。第1回は絵画と彫刻の各ジャンルから造形作家、ものづくりとして確かな足取りをみせてきた坂倉新平と天野裕夫を取り上げます。

2 世界の巨匠 水彩素描展(開催負担金)

水彩や素描は、完成作では見ることのできない作家の素直な感興や素質をまざまざと語ります。本展はアーカンソー・アート・センターが所蔵する世界の巨匠たちの水彩、素描約100点により構成され、西洋絵画を身近な存在として楽しんでいただきます。

3 日本のわざと美展(ポスター等印刷費、ディスプレイ制作委託料等)

文化庁の企画、主催で開催される本展では、現代に生きる日本の「わざ」を、その技法を支える人々と作品に焦点をあてて紹介します。工芸の幅広いジャンルを全国的視野で眺める絶好の機会となります。

4 参加してエンジョイ 現代美術(ポスター等印刷費、作品梱包輸送委託料等)

岐阜県美術館の20年間に及ぶ収集と研究の成果からテーマを設けて展示、紹介します。現代美術の持つアクティブな可能性にも注目し、参加型イベントを実施、現代美術と楽しく接する機会を提供します。

6 用語の解説

<クロスアート>

岐阜県は昔から東西の文化が交流する土地、つまり「クロス」する土地であり、異質な文化の混じり合いは文化の進展の要因となってきました。

その岐阜の地で新たに展開する展覧会シリーズでは、2人展、3人展として作家と作家の、時には現代的スタイルと伝統的スタイルの掛け合わせを行います。

この新たな展覧会シリーズを「クロスアート」と名付けました。

<アーカンソー・アート・センター>

アメリカ合衆国アーカンソー州リトル・ロックにおいて1970年代に設立され、水彩、素描、版画を中心に収集する美術館。主として15世紀から現代までの作家の作品を扱っています。